

## 1 アデノシン三リン酸二ナトリウム腸溶顆粒

3 溶出性 (6.10) 試験液に溶出試験第1液及び溶出試験第2液  
4 900 mLずつを用い、パドル法により、毎分75回転で試験を  
5 行うとき、試験液に溶出試験第1液を用いた場合の60分間の  
6 溶出率は5%以下であり、試験液に溶出試験第2液を用いた  
7 場合の30分間の溶出率は85%以上である。

8 本品のアデノシン三リン酸二ナトリウム水和物  
9 ( $C_{10}H_{14}N_5Na_2O_{13}P_3 \cdot 3H_2O$ )約60 mgに対応する量を精密に  
10 量り、試験を開始し、規定された時間に溶出液20 mL以上を  
11 とり、孔径0.45  $\mu$ m以下のメンブランフィルターでろ過する。  
12 初めのろ液10 mLを除き、次のろ液2 mLを正確に量り、試  
13 験液4 mLを正確に加えて試料溶液とする。別に定量用アデ  
14 ノシン三リン酸二ナトリウム水和物(別途「アデノシン三リン  
15 酸二ナトリウム水和物」と同様の方法で水分(2.48)を測  
16 定しておく)約22 mgを精密に量り、試験液に溶かし、正確  
17 に100 mLとする。この液5 mLを正確に量り、試験液を加え  
18 て正確に50 mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶  
19 液につき、紫外可視吸光度測定法(2.24)により試験を行い、  
20 波長259 nmにおける吸光度 $A_T$ 及び $A_S$ を測定する。

21 アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物  
22 ( $C_{10}H_{14}N_5Na_2O_{13}P_3 \cdot 3H_2O$ )の表示量に対する溶出率(%)  
23  $= M_S / M_T \times A_T / A_S \times 1 / C \times 270 \times 1.098$

24  $M_S$  : 脱水物に換算した定量用アデノシン三リン酸二ナト  
25 リウム水和物の秤取量(mg)

26  $M_T$  : 本品の秤取量(g)

27  $C$  : 1 g中のアデノシン三リン酸二ナトリウム水和物  
28 ( $C_{10}H_{14}N_5Na_2O_{13}P_3 \cdot 3H_2O$ )の表示量(mg)

29 -----

### 30 9.41 試薬・試液の項に次を追加する。

31 アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物、定量用  
32  $C_{10}H_{14}N_5Na_2O_{13}P_3 \cdot 3H_2O$  [医薬品各条、「アデノシン三リン  
33 酸二ナトリウム水和物」ただし、換算した脱水物に対し、  
34 アデノシン三リン酸二ナトリウム ( $C_{10}H_{14}N_5Na_2O_{13}P_3$ )  
35 99.0%以上含むもの]

36

37